

Kochi Governor's Official Residence

Design by TOGO MURANO

高知県知事公邸の文化的価値を考える [講演会]

2025.6.7 SAT 14:00 - 16:00

講師 建築史家 笠原一人氏

演題 「文化遺産としての高知県知事公邸」

会場 高知県立高知城歴史博物館ホール
オンライン配信あり

主催：一般社団法人日本建築学会四国支部
共催：公益社団法人高知県建築士会、一般社団法人高知県建築士事務所協会
公益社団法人日本建築家協会四国支部高知地域会

高知県知事公邸の文化的価値を考える [講演会]

昭和戦前戦後期の日本を代表する建築家の一人、村野藤吾の設計による高知県知事公邸は昭和38年の竣工から61年が経過しています。全国的に知事公邸のあり方を検討する動きもあり、高知県においても知事公邸の存続に対する検討が予定されています。そこで、高知県知事公邸並びに設計者である村野藤吾に対する理解を深め、建築・文化的価値を考える機会として、村野藤吾の研究の第一人者である笠原一人氏を講師にお迎えし、講演会を開催します。

知事公邸について

明治末から平成中期にかけて、都道府県知事の迎賓施設及び住居として全国の都道府県に建築されました。

近年では老朽化や維持費の問題から廃止される事例もありますが、建設に至る背景や建築的な価値から公開施設として活用されるものや、災害への備えから知事公邸として維持する地域も少なくありません。

高知県では日本を代表する建築家の一人である村野藤吾の設計により昭和38年に建設されました。



高知県知事公邸大広間から中庭を見る

村野藤吾とは

村野藤吾(1891-1984)は、大阪を拠点に全国で活躍した建築家であり、日本建築学会賞や文化勲章を受賞した昭和期を代表する建築家の一人です。近代的な工法によって機能美を追求する「モダニズム建築」が主流の時代において、人々の暮らしや活動を重視したヒューマンイズムの理念に基づき、様々な様式を自由に組み合わせながら独自の造形を生み出した建築家として高い評価を受けています。代表的な作品に、広島市の平和記念聖堂や、東京の日生劇場などが挙げられます。



広島・平和記念聖堂



東京・目黒区総合庁舎
(旧千代田生命保険相互会社本社ビル)

講師 笠原一人氏

京都工芸繊維大学准教授・建築史家。1970年神戸市生まれ。明治期以降の日本の近代建築や建築家の歴史、歴史的建築物の保存再生を専門とする。村野藤吾や浦辺鎮太郎などの建築家について研究・展覧会を通じた活動を行い、京都モダン建築祭実行委員長としても活躍。単著に『ダッチ・リノベーション』、共編著に『村野藤吾のリノベーション』『建築家浦辺鎮太郎の仕事』など。



日時：2025年6月7日(土) 14:00～16:00

会場：高知県立高知城歴史博物館ホール
〒780-0842 高知県高知市追手筋 2-7-5
※オンライン配信あり

定員：会場参加 80名 (オンラインは 100名以内)
会場参加・オンライン共に要事前申し込み
*オンライン申込受付は6月1日(月)17:00まで
参加費：無料

申込：下記QRコード・URL (Google フォーム)
にてお申し込みください。

<https://forms.gle/8IPZVRYFt6Fpc7YF8>



問い合わせ先：aijsc@vesta.ocn.ne.jp
(日本建築学会四国支部)

主催：一般社団法人日本建築学会四国支部

共催：公益社団法人高知県建築士会、公益社団法人日本建築家協会四国支部高知地域会、一般社団法人高知県建築士事務所協会

後援：高知県、高知市、一般社団法人高知県設備協会、一般社団法人高知県建設業協会建築部会、京都工芸繊維大学、高知大学、高知県立大学、高知工科大学、高知県立林業大学校、龍馬デザイン・ビューティ専門学校、高知工業高等専門学校、高知新聞社、建通新聞社、RKC高知放送、NHK高知放送局、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、高知ケーブルテレビ、エフエム高知、ぷらっとホーム MOKU